

中央区自治協議会委員 各位

新潟市中央区社会福祉協議会  
事務局長 佐藤 靖夫

## 「ゴミ屋敷支援を考える」地域福祉ネットワーク会議のご報告について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃の本会事業についてご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、11月の自治協議会において、皆様にご案内いたしました「地域福祉ネットワーク会議」のご報告をさせていただきます。

会議当日は、中央区社協で取りまとめましたゴミ屋敷支援の現状と課題、先進地事例の報告をした後、近年寄せられる相談で多くある事例の中から架空の事例をつくり、ご参加いただきました福祉専門職の皆様と、自治協議会委員でご出席くださった方々、地域の民生委員、コミ協代表者、地区社協代表者の方々と一緒に、どのようにしたらこうしたケースについて支援して行けるのかを考える話し合いを行いました。

その時の話し合いで皆様から寄せられたアイデアについてまとめましたので、ご高覧下さい。

中央区社会福祉協議会では、こうした世帯への支援について今後も中央区の地域課題として取り上げ、支援する方策を現場の方々と協議検討してまいります。

地域の課題はゴミ屋敷の支援に限らず、引きこもりの方の支援であったり、生活保護に至る前の困窮者の方の支援であったり、刑余者の方の地域生活の支援であったり、様々な課題があります。現場だけの解決が難しいケースについては、地域の課題として行政、社協、福祉専門職、地域の団体などの多様な関係機関による解決のための仕組みづくりが必要です。

今後は、報告資料の図にありますように連携をさらに強化し、ともに動くことでできる生きたネットワークをつくってまいりたいと思います。

自治協議会委員の皆様におかれましては、こうした地域の福祉課題についてぜひ今後ともご関心を寄せていただき、自治協議会でもテーマとして取り上げていただければ幸いに存じます。

今後とも、中央区社会福祉協議会へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## &lt;ゴミ屋敷支援を考える地域福祉ネットワーク会議開催概要&gt;

1. 日時 平成28年12月12日(月) 13:30~15:30
2. 会場 新潟市総合福祉会館5階 大集会室1・2
3. 内容 『ゴミ屋敷の支援』に関する中央区の現状と課題、先進地実践の報告  
『身近でこんな事例があったら』のグループワーク
4. 参集者
  - ・各地域包括支援センター
  - ・障がい者基幹相談支援センター中央
  - ・パーソナルサポートセンター
  - ・障がい者計画相談支援相談所
  - ・居宅介護支援事業所
  - ・自治協議会委員
  - ・コミュニティ協議会代表者
  - ・地区社会福祉協議会代表者
  - ・民生委員

申込・問い合わせ先

新潟市中央区社会福祉協議会 担当 秋山・渡邊

電話：025-210-8720 FAX：025-210-8722

同じようなケースが地域に出ないよう予防的に取り組むべきこと・出来ること

早期発見できる地域づくり

- ・隣近所(班単位)⇒自治会⇒民生委員で発見をつなぐ(まずは回覧板を手渡しするようにしてみる)
- ・友愛訪問対象外の世帯に声かけ
- ・自治会長と民生委員が連携、一緒に訪問する活動(まずは災害時要援護者の見守りで情報共有)
- ・茶の間や飲みケーションで交流(若い世代・高齢者一緒に)
- ・駐在所と民生委員が訪問時情報を共有する

相談しやすい環境づくり

- ・相談窓口一覧を地域ごとに作って配る
- ・相談窓口があることを自治会役員会で周知・広報してもらう
- ・民生委員定例会など、関係機関が集まる場があるので、そこでの相談や情報共有を強化

またゴミ&猫屋敷状態にしないために必要なこと・できること

包括支援センター  
ケアマネジャー  
介護保険サービス事業所  
...介護保険サービスを継続し、在宅生活を継続できるよう支援する

パーソナルサポートセンター  
障がい者基幹相談センター  
...息子へ就労や必要な自立に向けた支援につなげ、生活を再

社協(SC・地区担当・CSW)  
ここにあるものは、社協が使命とする地域づくりと同じ。  
関係機関や地域、行政とこれからもつながりを深めながらこれらについて中心となって取り組む

社協(CSW)  
関係機関と地域がともにこの世帯を見守りできるようなつながりを維持する支援

自治会・近隣  
必要ならゴミ出し支援などの地域でできる支援を

これから必要なこと

- ・連携強化・ともに動くことで生きたネットワークへ
- ・関係機関も地域も、それぞれの立場で地域をくまなくめぐってみる
- ・情報が行き来するような顔の見える関係をつくる
- ・ケアマネや包括、障がいの相談機関など、担当する世帯に訪問時、自治会長や民生委員を把握して連携をとるようにする
- ・ゴミ出し支援を中央区でも事業化するなど支援策を継続して検討する
- ・この世帯のような前の、若い世代・子育て世代が相談しやすい関係づくりと情報提供
- ・条例を作り、そこにゴミの片付け費用についても盛り込むようにする
- ・税金滞納や公共料金滞納などで経済的に困窮の危険性がある世帯を行政などが情報提供できれば予防になる

この世帯にできること

包括支援センター  
ケアマネジャー  
...介護保険サービスを導入、父への支援

社協(CSW・地区担当)  
親族、行政、関係機関、地域の支援を得ながら、ゴミ&猫屋敷状態の解消

パーソナルサポートセンター  
障がい者基幹相談センター  
...息子への支援を行う

民生委員  
見守り訪問を継続、自治会と連携して支援する

自治会長・民生委員  
この世帯の最初の訪問者として、関係機関に相談をする



84歳衰弱した父と48歳独身で無職の息子二人暮らし。ゴミと猫だらけの世帯